

## カムリからの便り 1

### Teithiau Cerdded yn Nghymru – カムリを歩く

堤（ロディス）希代

こんにちは。カムリ在住の堤（ロディス）希代と申します。このたびは日本カムリ学会ニュースレターへ投稿する機会をいただき、大変光栄です。カムリに暮らして足かけ10年、日本の人たちにもっとカムリのことを知ってもらいたいと思いつつも、これまでなかなかチャンスがなかったため、今回の機会を嬉しく思っています。拙い文章ではありますが、私の投稿を通してカムリの一面を紹介できたら幸いです。

まずは自己紹介から……。私とカムリ・カムリ語との出会いは、偶然がきっかけでした。日本文化紹介ボランティアとして英国に数ヶ月滞在したとき、最後に配置されたのはカムリ西部Carmarthen (*Caerfyrddin*) 州にある小さな村の小学校でした。学校訪問初日、それまでカムリ語の存在すら知らなかった私を出迎えたのは、手作りの横断幕に書かれた「Croeso!」の文字。ほどなく、生徒もスタッフもみな英語ではない言葉を使っていることに気づきました。そこは、*Ysgol Gymraeg* (Welsh medium school: 学校運営、授業すべてがカムリ語で行われる学校) だったのです！初めはびっくりしたものの、すぐにこの不思議な言葉を少しでも学びたいと好奇心がわき、あいさつなどの簡単なカムリ語を教わりました。その3ヶ月は忘れられない思い出となり、過ごした地域は第2の故郷のような存在となりました。

帰国後カムリ語学習も一時休止となりましたが、数年後留学生としてカムリに戻り、あらためてクラスに通う機会が得られました。縁あって国際結婚したあとも定期的に夜間教室に通い、すべてのレベルを修了しました。ここ1年半ほどは、もっぱらほかの学習者の学習サポートをしています。日常会話には困らない程度まで話せるようになったのですが、残念ながらふだんあまりカムリ語を使う機会がありません。近い将来何らかの形でカムリ語を生かせる仕事を見つけないか、また、これからもカムリ語推進の手助けをしていけたらと思っています。

さて、どんな切り口でカムリを紹介しようかと思いをめぐらせるうちに思いついたのは、趣味であるウォーキングを通して紹介するというものです。英国はウォーキングが非常に盛んな国で、Public footpathと呼ばれる小道が無数に整備され、自然を満喫しながら歩くことができます。カムリにもllwybr

(path) がたくさんあって、ウォーキングの行き先には事欠きません。全国規模のRamblersという非営利のウォーキング団体は各地に支部があり、私も1

0年間、地元グループのメンバーです。おかげで、自分ひとりでは行けないようなところにも行くことができ、カムリの様々な場所や地域について知り、その素晴らしい自然や歴史的な建物などに会うことができました。

これまで、様々なところを歩きました。カムリ南部は海も山もアクセスしやすく、行き先もバラエティに富んでいて、毎回のウォーキングが新鮮な体験です。たまに同じルートของときもありますが、季節や天候が違えば、見え方・感じ方は異なり、何度参加しても飽きることはありません。カーディフから車で30分から1時間程度のところをよく歩きますが、遠出をしなくてもウォーキングが楽しめる場所はたくさんあります。私の家からも、歩いて行ける範囲に丘や牧草地が広がっています。一方、町歩きでも公園や、興味深い建物などが散在していて、普段の生活では気づかない一面を知ることができます。ウォーキンググループのメンバーになっていなければ、私のカムリ経験はもっと浅いものになっていたでしょう。

さて、光栄にもシリーズ投稿の依頼をいただきましたので、今回は春の話題として、グループ恒例の *Taith Cerdded Dydd Gwyl Dewi* (St David's Day Walk) についてお話したいと思います。私が所属する Tiger Bay Ramblers はカーディフにある Ramblers 支部のひとつです。基本的に毎週日曜日にメンバーが交代でリーダーとなってウォーキングを企画します。St David's Dayに近い日曜日はもともと特別なウォーキングではありませんでした。ここ数年、カムリ語話者のメンバーがあえて St David's Day Walk と銘打ったウォーキングを企画するようになりました。参加者はカムリをテーマとした物を身につけてきたり（国旗や黄水仙など）カムリ語が話せなくても、ちょっとした表現や言葉にトライしたりします。ウォーキング中にいちばんがんばってカムリ語にトライした参加者には学習者賞が贈られることも・・・。

今年の St David's Day walk はブレコン・ビーコンズ国立公園の Visitor Centre を出発点とし、周辺約12キロほどを歩きました。ブレコン・ビーコンズ (Brecon Beacons/*Bannau Brycheiniog*) 国立公園はカムリに3つある国立公園のひとつで、観光客やウォーキングをする人たちにとても人気があります。カムリで2番目に高い山、Pen-y-Fan を初め、山や丘がたくさんあり、牧草地も点在し、どこへ行っても素晴らしい景色が広がっています。このエリアは山が近いので天候が変わりやすく、当日も出発時は晴れていましたが、途中からは雨模様になり、足元はぬかるみのオンパレード、風も強く、ときにヒョウもたたきつけるほどのなかなか劇的なお天気となりましたが、みな楽しんでいました。私は自家製のウェルシュ・ケーキ (*Pice ar y maen*) を持参して、みなにふるまいました。ウォーキングのあとはパブに行くことが多いので

すが、今回は出発地となった**Visitor Centre**のカフェで、温かい紅茶やコーヒー、そしてリーダーから配られた参加者賞(?)のチョコレートでみな疲れを癒したのです。



2012年のSt David's Day walk (Vale of Glamorgan)



2013年のSt David's Day Walk (Blaengarw, County Borough of Bridgend)



今年のSt David's Day Walk (Brecon Beacons National Park)



今年の St David's Day Walk、  
Brecon Beacons National  
Park Visitor Centre から Pen-  
y-fan 方面を望む